

1977 / 1982

# 「卒業単元」

子どもたちが計画する「夢の時間割」

解説 木村重夫

# 教育

# 新宝島

1月特典

向山洋一教育資料

No. 26

2026  
JAN.



(調布大塚小学校卒業アルバムより 1977.3)

# こどもが構想する「卒業単元」は教師の夢と度量と授業力の反映である

木村重夫

## 1. 丸ごと追試ができなかった

今みなさんは、向山氏の圧巻学級経営案をご覧になった後、どんなことを感じ、そして、何をしたらだろうか？

向山氏に驚かれ、呆れられたことがある。6年担任を何度もした。荒れたクラスを立て直して卒業させる仕事が多かった。

向山実践に憧れ、6年の実践もたくさん追試してきた私だが、丸ごと追試ができなかった実践がある。

「卒業単元」である。「卒業単元」を追試するためには3つのハードルがある。

### ◆ハードル1 授業をほぼ1月で終了する

大前提として、授業をテンポよく進める必要がある。

算数や歴史の教科書を最後の単元まで「ほぼ1月で」終了させなければならない。

まとめのテストもある。4月から「その気」で計画を立てて進める必要がある。

まあ、これはTOSSで真剣に学ぶ教師ならクリアできるだろう。

私の場合、少人数指導が導入されて学年チームで算数を進めることになると、1月で終わらなくなった。

### ◆ハードル2 教師の夢と度量が必要

「お菓子のパーティ」「食べ物持ち込みパー

ティ」を何度かやった。「学校でものを食べてはいけない」が原則だが、家庭科の調理実習や学級活動にこじつけた。子どもに大好評であった。

こうしたパーティは、教師の度量が必要だ。「えいや!」とやっちゃう度量だ。「先生のクラスだけ…」と注意・指導されたら、「申し訳ありません」と謝る覚悟だ。

しかし、パーティは1日のせいぜい2〜3時間である。「卒業単元」は1週間全部である。ダイナミックさが違う。

若かった私は「1週間」に怖じ気づいた。ベテランになると、逆に若い先生が「とてもできません」と尻込みすることに合わせて「自粛」してしまった。

今思うと情けないことだ。サポートして学年でやっちゃえばよかった。

「卒業単元」実践は、教師の夢と度量なしにはつukれない。

### ◆ハードル3 教師の総合力が反映する

「卒業単元」にはそれまでの教師の授業、学級経営、裏文化、全てが反映する。学級崩壊したクラス、荒れたクラスでは絶対にできない実践である。

TOSSで学ぶ教師なら、子どもから次の活動が提案されたら本物だ。

① 五色百人一首

- ② 全員が楽しめるルールの外遊び  
例) 王様ドッジボール
- ③ ダンス、チャティティソーラン、  
チャティティ音頭など
- ④ 将棋・ふれあい囲碁・コマ回し・け  
ん玉などの豊かな室内遊び
- ⑤ 理科実験、科学あそび
- ⑥ 名文詩文暗唱&算数難問
- ⑦ チャレラン (ペーパーチャレラン)
- ⑧ 合唱・のど自慢・歌合戦
- ⑨ お茶会 (食べ物持ち込み!)

向山氏は「1～3年までの算数」「1～3年までの国語」を入れさせた。教師が進める知的な授業である。

向山学級は「映画」2時間とある。何を上映したのだろうか？

現在なら、「eスポーツ」と言われるゲームや、生成AIを使った活動を入れたがる子が多いかもしれない。

## 2. 「ミニ卒業単元」のすすめ

時間が取れない、学年の調整が難しいなどで「1週間」はとても無理ならば、「1日だけ」「3日間」「1日2時間×週5日の帯タイム」など工夫したい。

いわば「ミニ卒業単元」である。規模は小さいが、子どもと夢が共有できる。

時間をやりくりして、子どもたちと**ミニ卒業単元**をつくろう

祭りばやしサークルの梅沢貴史氏と吉川たえ氏のミニ卒業単元を紹介する。

### ◆梅沢実践 「1日お化け屋敷」

1・2校時 お化け屋敷づくり、全校他クラスへの招待状づくり

2校時休み時間 1・2年生招待

3校時 「お化け屋敷補強」

3校時休み 3年生を招待

4校時 「お化け屋敷補強」

すきま時間に自分たちも楽しむ。

昼休み 4・5・6年生招待

5校時 卒業式練習

6校時 お化け屋敷片付け



### ◆吉川実践 帯タイム「卒業単元」

1日2～3時間×5日間

中学数学チャレンジ「長いもの探し」

理科：人の体の不思議

国語：リレー作文、百人一首

外国語：英語で討論

図工：あなたもイラストレーターに

体育：サッカー、体力テスト

音楽：歌合戦

教師の夢と度量と授業力で、わが学級・学年の「卒業単元」をつくろう。

# 本資料について

## 1. 「卒業単元」とは何か

6年生の3学期——。

予定した授業内容は、ほぼ1月で終了する。2月、3月の間は、比較的自由的な授業が許される。

向山洋一氏は、次のように語っている。

「私は、小学校時代最後の、そしてたった1回のこの時期の授業を子どもたちに構想させることにしている」

子どもたちが、自ら学習計画をつくる。

それがこの「卒業単元」の最大の特徴である。6年間の締めくくりにあふさわしい“究極の授業”である。

## 2. 「卒業単元」の例

向山学級（5代目）の6班の子どもたちは、次のような時間割を立てた。

- A 百人一首（平安時代の勉強）
- B 多摩川へ行く（社会科見学）
- C 漫画を読む（図書の勉強）
- D 屋上あそび・バスケットボール・野球……（体育）
- E 読書（国語）
- F 調理実習（家庭科）
- G お店屋さんごっこ（社会・金銭感覚を身につける）
- H のど自慢（音楽）
- I 向山先生コンサート（音楽）……

授業と遊び、計画と即興——。

子どもたちはこの自由な時間の中で、6年間の学びを再構築する。

向山氏はさらにこう語る。

「何もかも自由にさせるわけではない」  
「私のやりたいこと、学校としてやらねばならぬこともある」  
「だが、発想は、全く自由なところから出発させる」  
「班ごとに『卒業単元』の時間割をまず考えさせる」  
「条件はただ一つ。『教育的な価値をこじつけろ』である」

自由で、そしてダイナミックな実践——。

「卒業単元」は、まさに向山流学級経営と学習指導の集大成でもある。

## 3. 本資料集掲載の向山実物資料

向山学級の学級通信を中心に、「卒業単元」の実践を紹介する。

- (1) 向山洋一『学級通信エトセトラ』  
調布大塚小学校6年、1977年、  
向山実物資料A112-13-01
- (2) 向山洋一『学級通信ランダム』  
調布大塚小学校6年、1982年、  
向山実物資料A117-08-01
- (3) 向山洋一『教師の成長は子供とともに6年の学級経営』  
明治図書、1984年、p.110-117

解説は木村重夫氏による。

● 向山洋一『教師の成長は子供とともに 6年の学級経営』明治図書、1984年



特典 向山洋一教育資料 — No.26 2026 JAN. — 1977/1982 「卒業單元」子どもたちが計画する「夢の時間割」

二八日(木) 授業内容検討(希望学年)

二九日(金) 紀要・指導案刷上り・学年会

三〇日(土) 都・区指導主事との授業検討

一日(月) 教材・教具・器具等の点検・配置

二日(火) 授業の流れの最終確認

三日(水) 前日準備

四日(木) 公开发表

五日(金) 礼状発送・研究の今後の方向

研究通信の発行、授業の検討会などの世話役は私が担当していた。研究通信は全部で八八号発行された。研究のすべてをありのまま書いて発行したものである。

最終号は一月二十二日に発行した。「研究通信終刊の辞」の中で、私は次のように述べた。

「この研究通信の中には、一年間の研究の流れがくわしく載せられている。今後、研究にあたられる学校の参考になるように、実務的なこともかなり載せてきた。この研究の中で私たちは多くのものを得た。今後の仕事の中に生かしていきたいと思う。

個人的なことで恐縮であるが、私はここで得たものを、四月から担当する「授業論の連載講座」(『授業研究』誌・明治図書)に反映させたいと思う。また、この一年間の私の学級の歩みを、もう一つの連載講座「学級経営・わたしのあゆみⅡ6年」(『学級経営』誌・明治図書)の中で述べていく予定である……。

研究通信は本号で終刊である。これから、二週間後の公开发表をめざした日々が続く。それは残念ながら載せることはできない。

#### 四 「卒業單元」を構想する

##### 1 公開授業準備

一九八二年一月十八日に、公開発表の受け付けを開始した。すぐに、四十八名の参観申し込みがあった。千葉大の明石氏、横国大の井関氏、東大の藤岡氏などの名もあった。公開発表まで、どのような動きをしたのか、楽屋裏をお見せする。

一九日(火) 指導主事との発表原稿打ち合せ、二・三〇より二年、三・〇〇より三年(以下三〇分毎)

二〇日(水) 職員会議(当日の時程等の確認)

二一日(木) 発表原稿配布・学年毎の検討

二二日(金) 授業検討(学年)

二五日(月) 教材・授業内容検討 指導主事：午前 校長：午後

二七日(水) 発表リハーサル(体育館)

場がほとんどなかったし、また、自分から求めようとしなかった。

しかしそんな私でも機会は十年に一回ぐらいは、向こうから訪れてくる。自分の仕事を、自分で六十点つけるぐらいにやっていたら、自然にやってくる。訪れてきたそういう機会には全力をあげることだと私は思っている。先月号と今月号の私の文でおわかりかと思うが、私には公开发表の授業の準備をする時間がほとんどなかったのである。(日々の授業は別である)

ほとんどの時間は、学校の公开发表の準備の時間に費された。そして、残りの時間は、生活指導主任の仕事とか、全国教研の準備とか、いくつかの原稿を書くとかに費されたのである。公开发表の日には、私の教室へ全国から百名近い方々がつめかけ、参観された。だが、その授業も、こういうあわただしさの中で、すれすれで準備されたものなのである。

学級経営に、ありあまる時間を費すことができた時代が、私にもあった。教師になりたての数年間である。それから、次々に時間が奪われ、いつのまにか、「何で自分はこんなことまでやるのか」という仕事までかかえるようになった。

私は三年ほど前、大西忠治氏の授業を参観したことがある。公开发表を終えた大西氏と私と二人の編集者で、ささやかな宴をした。その時大西氏が「自分の授業を準備する時間がなかった」と話されていた。

私には、そのことがよく分る。公开发表をしておかしたことが、本当に、自分の授業を準備する時間がとれないのである。そんな生き方を批判される方もおられよう。いや、批判される方の方が多いであろう。

しかし、そうした教師の生き方があることは事実なのであり、また、そうした教師が公开发表・実践記録の発表などを次々にやっていくのも現実なのである。私自身も、生き方として、どれがいいとは言えない。私の場合は、いつのまにかこうなってしまったのである。

調布大塚小の研究は、この仲間があるからこそやりとげることができた。人生に同一の回帰があり得ないように、再びの、この研究の再生は不可能である。

いずれかの教室、いずれかの学校で、私たちの研究を越えていく研究・実践が、次々と生まれることを願い、これから先の調布大塚小の仲間たちに、私たちの志の意を伝え筆を置くことにする。」

公开发表の準備の忙しい一月二十八日、私は広島へ旅立った。日教組の全国教研体育分科会へ、東京の代表として参加するためである。あわただしさは新幹線の中までついてきた。『体育科教育』誌の原稿を書かねばならなかった。

「私は本稿を広島行きの新幹線の中で書いている。『跳び箱は誰でも跳ばせられる』という実践研究を携えて、全国教研体育分科会に出席するための車中である。

私の手もとに、各県代表のレポートがあるのだが、通読してみても戸惑いを覚えている。研究レポートであるにもかかわらず、

①研究テーマは何か ②研究の結論は何か ③結論はどう論証されているかが、極めて不明瞭なのである。このことは、いざれどこかで論じなければならぬと思っている……。

拙著『跳び箱は誰でも跳ばせられる』（明治図書）は、跳べない子が一人でもなくなることを願って書いたものである。『跳び箱は誰でも跳ばせられる』ことが教師の常識にならなかつたのは、『研究とは何か』『跳び箱運動における基礎・基本は何か』が明示されなかつたことに原因があると思える……。『体育科教育』大修館・一九八二年二月号）

学校の公开发表にしる、全国教研にしる、私にとっては大切な研究の場であつた。私は、大きな研究団体に所属していないから、発表の場はほとんどなかつた。学校の公开发表を数日後にひかえて、四日間も広島へ行くなどということとはむちゃなことだが、私はどちらもやろうと決めていた。私の人生で再びはないことなのである。私には発表の

私は、小学校時代最後の、そしてたった一回のこの時期の授業を、子供たちに構想させることにしている。それが「卒業単元」である。

もちろん、何もかも、自由にさせるわけではない。私のやりたいこと、学校としてやらねばならぬこともある。だが、発想は、全く自由なところから出発させる。班ごとに「卒業単元」の時間割をまず考えさせるのである。条件はただ一つ。「教育的価値をこじつけろ」である。「遊び」の時間ではないのである。さて、いくつかのプランをお見せしよう。

#### ◆六班の計画

##### 単元

- A 百人一首 (平安時代の勉強)
- B 多摩川へ行く (社会科見学)
- C マンガを読む (図画の勉強)
- D 屋上あそび・バスケットボール・野球・サッカー・バドミントン・室内ゲーム・フォークダンス(以上体育)
- E 読書 (国語)
- F 調理実習 (家庭科)
- G お店やさんごっこ (社会・金銭感覚を身につける)
- H のど自慢 (音楽)
- I 向山先生コンサート (音楽)
- J ひるね (身体を休める)
- K 同じかっこうを一時間(忍耐の勉強)

全国教研の会場は、雪化粧をした安西高校であった。芯までこごえるような体育館で、私は「誰でも跳び箱は跳ばせられる」指導方法を熱心に語っていた。子供たちへのおみやげだけを買って、あわただしく帰京する新幹線にのりこんだ。その時から、私は三日後にせまった公開発表の授業を考え出した。

## 2 卒業単元の検討

では、一月末のあわただしい中で、子供たちは何をやっていたのだろうか？

子供たちがこの時期にやっていたことは二つであった。社会科の調査と卒業単元の計画である。

社会科の授業は「身近にある問題」がテーマであった。

近くにある一級河川「多摩川をめぐる問題」がとりあげられ「魚は誰のものか」「水は誰のものか」「土地は誰のものか」という三つの問題が追求されていた。

子供たちは、多摩川に出かけ、看板を次々と写しとり、建設省の出張所を訪れ資料を集め、河原のようすを調べ、昔のことを古老から取材していた。公开发表では、河川法を根拠に、「河川敷は国のものである」と主張する子どもたちと、建設省の「土地測量図」を根拠に「私有地も存在する」と反論する子供たちの論争が授業の中心となった。子供たちは、自分たちで、資料を集めていたのである。

さて、もう一つの「卒業單元」は、少し説明が必要である。私は、六年生を担任した三学期の授業は、かなり自由に組み立てることにしている。予定してある授業内容は、ほぼ一月で終了になる。そうすると、二月三月の間は、かなり自由になる時間をとれることになる。この期間に「私の生いたち」などの自己史を書かせるような実践もある。また、卒業文集を作る実践もある。つまり、この期間は、担任が思い思いの教育をしている場合が多いのである。

六年間でたった一回の黄金の時間帯である。六年間で、この時期だけは、比較的自由な授業が許されるのである。

	月	火	水	木	金	土
1	理科	脱線	百人一首	低学年国語	図工	音楽
2	理科	合唱	音楽	低学年算数	図工	持ち込みパーティー 調理実習
3	百人一首	屋上体育	難問	百人一首	映画	
4	球技	クミニクラブ	怪談	難問	映画	
5	講演会	お茶会	球技	理科	クラブ	
6	委員会	のど自慢				

- 5 球技 (ドッチボール、バスケットボール、バレーボールなど)
- 6 難問 (少しは頭を使う)
- 7 ミニクラブ (クラスのクラブ)
- 8 一年〜三年までの算数 (中学になって困るから)
- 9 一年〜三年までの国語 (字が読めないと困るから)
- 10 合唱 (向山先生の指揮で、全校をしびれさせたあの合唱を)
- 11 お化けやしき 忍耐力をきたえる。(怪談でもいい)

週時程

12 食べもの持ち込みパーティー

13 映画(またはカセットテープ)鑑賞

九つの班から計画が出され、全体で一つの案にまとめられた。私の案も半分割り込ませた。たとえば、一年からの各教科の授業である。三十の名詩、名文の暗唱である。

友人にも来てもらって授業をやらしてもらった。母親との会も実施した。百人一首もどっさりやった。NHKのクイズ面白ゼミナールの教科書問題作成に私が関係していることから、教科書クイズもとあげた。楽しい授業であった。

L おままごと (家庭科・家庭生活の研究)

M 向山先生の生いたちの記 社会 (歴史)

N 理科、音楽、図工 (専科の先生なので、そのままにする)

週時程

	土	金	木	水	火	月
1	音楽	図工	向山氏の コンサート	フォーク ダンス	読書	理科
2	多摩川へ行く 調理実習 (一週おき)	図工	室内 ゲーム	音楽	同じか つこうか	理科
3		のど 自慢	野球	百人 一首	おまま ごと	マンガ
4		百人 一首	野球	バドミ ントン	お店やさ んごっこ	バスケ
5		クラブ	向山氏の 生い立ち	サッカ ー	昼 ね	百人 一首
6					屋上 遊び	委員会

このような中にも、クラスの様子は反映するものである。子どもたちは「百人一首」が大好きなのである。四人で机を合わせて試合をする。四十分間で四試合するのである。一位の子は上のリーグへ上がり、四位の子は下のリーグに下がることにしている。四十分で四試合だと、ものすごいスピードで読むことになるが、上位のリーグは、残り札がなくなる。百枚全部を覚えていた子は半数を越えているのである。

◆三班の計画

単元

1 百人一首 (国語の古語の勉強、反射神経を養

う)

2 屋上体育 (陣取り) (人数集め) (手つなぎ鬼)

3 向山先生講演会 (お母様方をおまねきする。なお入場料百円をもらう。このお金はクラスの費用となる)

4 調理実習 (家庭科の勉強、男女ともいつかは役にたつ)

# えとせとら

№ 166

1977.1.22

602 通信

授業

- ◇ 昨日放課後 宮越さんと川上さんが謝恩会の件で見えられて話しこんでいかれた。ぼくは、ひそかにかくしていたウイスキーを、フタをグラスのかわりにして、今ヨビ今ヨビ飲みながら話した。(このウイスキー、初めて飲んだのは佳代子である。昨年貧血をおこした時だ。泉産科の会食の時、紅森に入れて、希望君にスプーンで一杯いづつ飲ませてあげた。)
- ◇ 教育をめぐるよもやま話をしたわけだが、ぼくは調子にのって「あと15分いいでしょ。ねっ、それだけ話し相手を持って下さい。」「あと5分いいでしょ。」「3分で本当に終わりますから」と、けっきょく、5時半すぎまで、ひきとめてしまった。とても楽しかった。
- ◇ 家に帰ると、ちらし寿司が作ってあった。入学前に死んだ妹の命日だった。妹の死んだ日、就学時健診の通知が届いていたという。弟目、お線香をあげに骨った。青い顔をしていた。「とうした」と聞いたら、朝4時半に起きて、6時から9時まで授業をしてきたためという。
- ◇ 弟は大森オーホで三年を担当している。大田小の隣の学校である。昔は海苔屋さんが多かったのだ。大塚に居ると海苔の取り入れが始まり、学校は休みになったり、早朝5時からの授業があったりしたそうだ。社会科で御土の丁史を勉強し、その当時をしのんで、早朝6時からの授業をしたのだという。朝の6

時前、外はまだ真暗である。母親に連れられてる供達は登校してきたらしい。早目について、自転車で学区域をひとまわりしてくると、校長先生が暗い校内の所に立っていたという。大田川で教頭先生をしていて、ほくも四年生一緒だったんだ。

◇ 学校でのウイスキーがきいてきて、よっほらって聞いていたのだが、弟の話しにえらく感動した。ほくは、大田川に7年間いて、そうした授業をしなかったし、考えるつかなかったからだ。その地域に打ち込んでいる教師魂を久しぶりに見る思いだった。今日土曜日、弟のクラスの学級通信の100号パーティーがひらかれるという。「36人中35人出席予定なんだ。障害児の母親や、パーにつとめている人の母親ほど、一度も学校に来てない人が来てくれるんだ。一日のかせぎを棒にぶってきてくれるんだぜ」。弟はほくの出した祝いのウイスキーをうまそうに飲みほらしてやった。

◇ よって来たほくはすぐ帰ってしまった。2時頃目がさめた。さえてきておつかい多い。近頃授業が楽しくてしょうがない。何年ぶりかのことである。宮城さんと川上さんとの話しや、弟の話が頭をよぎる。教育の本をよみ出し、ノートをつくり出した。授業の予定が終る二月から、俺も思いきって何かやってみようと思案した。アランが次から次にわいてきた。寝たのは4時をまわっていた。

◇ 今日、3供達に聞いてみた。「2月14日～19日までの時間割を君達にまかせるとしたらどうする。」「毎日百人一首をやりたい。」「読書を週三四回ぐらいしたい。」「毎日、遊び時間を一時間とりたい。」「たまに勉強したいとあきらむから、算風社を週一時間ずつ入れるといい。」「討論の時間が一回ぐらいほしい。」「体育を…」

◇ ほくも「地球の歴史」「数学史」「推理小説分析」「文学・芸術論」「小学校1年の復習」ほどやりたいものは多い。土、日に親父をひっぱり出してほしい。4週分ある。おろさんと考えてみて下さい。

# えとせとら

NO. 167

1977. 1. 25

調布大塚川

602 通信

## 卒業単元の構想の為の覚書(1)

- ◇ 前号でよびかけた授業の方向は、子供からも親からも大好評であった。子供達は胸をわくわくさせて楽しみにしているし、母親達からも、「一緒に受講したい」「何十人分のあすしでも作ってやる」「大賛成」「どんどんやってみてほしい」などという反応があった。「尤も一人で反対されるわけはない」と言っている。教育権の中心は親にある。
- ◇ 坂本先生はよく、「六年生の三学期は卒業という一つの単元にしてしまっ。思いきったことをすればいいと思うんだ」と言っていた。ぼくも(俺も)何となくそうしたいと思っていた。しかし一年間の準備期間が必要なものである。教科の内容を一月までに一通り終らせなくてはならないからだ。この一年間、今までに何く授業にうちこんでこられた事もある。次の日の授業を心待ちにしたことがしばしばあった。どちらの方は目安もついていた。
- ◇ 約一ヶ月間の授業は、思いきって発想をかえてみたい。子供の要求半分、ぼくのやりたいもの半分で組んでみたい。必要なら、他から人間もよんでみたい。“ためにやる。勉強にやる、という事は一切考えない。楽しい。やりたい、という事を根本にする。その結果として“ためにやる。勉強にやる、という結果が出れば、それにこしたことはない。
- ◇ 三学期の始めに座席を自由にした。子供達は喜ぶかと思っていたが反対であった。とまどいの表情をみせ、決めた方がいいというのである。自由に直面して、とまどう子供達の姿にがくせんとした。ぼくも又、子供達を強く管理してきたと思っていた。+

週向だけやってみようという事でやらせてみた。男女の席がたまってしまふのである。まろん何人がぼまじっていたが…。追川が座席に番号をつけ、くじにしようと提案した。女のると一緒じゃ何ひとつまら何ひとつというのだ。いい出しっぺで追川と田村がくじをこしらえ、今は男女を並んでいる。座席の自由化一つでも、これだけ手続が必要であった。

◇ 子供の時間割の要求の中心は遊びである。これは当然である。思いきってやらせるつもりである。毎日毎日遊んでどこまで続けられるか。やらせてみるつもりである。一週間は続きます。三日であきると思う。毎日遊び続けるたいくつさにあきあきすると思う。仕事のアとの遊びだからこそ、勉強のアとのリフレッシュだからこそ楽しいのだということが実感されるだろう。落語に出てくる殿様が「メグロのサンマ(日置の秋刀魚)の美味を発見するのと同じである。

◇ ほくがやってみたものはいくつかある。一つは裏文化、遊びに関係したものである。大田小の頃、六年生全部がメンコに熱中し、休み時間に盛大にやったことがある。ほくは各クラスで、片っぴしから勝ち続けた。「うそんこ、ぼどやらない。」ほんこ、ほんきんである。まきあげると「川使いで買ってこい」と言ったものだ。ダンボールの箱に二箱ぐらいためてしまった。これだけの供養が熱中したものでも、三週間とは続かなかった。

◇ やってみたイカニは、一年生、二年生、三年生ほどの教科書を使用しての授業である。今に入れば、大学のも使ってみたり。イカニは、何というか、高級な裏文化である。推理小説の分析とか、邪馬台国の謎とか、いろは歌とか、漢字の分解とかである。イカニは、本格的な文学への挑戦である。イカニは親父、おひくろを引っぱり出す事である。虎の親父さんに「世界のエネルギー利用」とかおひろの親父さんに「ドイツの生活」とか、香の親父さんに「オーストラリアの小学校」とかである。イカニは石黒、中村などをつれてきて授業をさせることである。イカニは

漢字テスト七回連続百点

小岩、小泉、上田、尾中、藤村、瀬

本頁百点

五、外、小、小、文、庄、陶、竹、宮、大、上、大、川、栗

桜、須、鈴、中、中、中、長、村、(三十三名)

# えとせとら

NO. 168

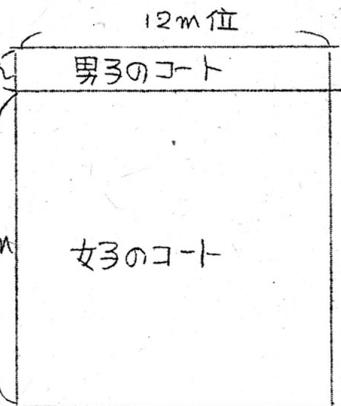
1977. 1. 28

調布次塚小602

## 卒業単元の構想の為の前置き (2)

- ◇ 昨日の放課後 坂本先生と宮蔵さんと川上さんと理科室でおしゃべりをした。お二人は「私達だけでもいいわい」とおっしゃっていた。みゆさん方もどうぞ。理科室には、上等のコーヒーがあります。木曜日以外なら、3:40分をすぎれば、大体時間はいくらでも……。宮蔵さんと川上さんは卒対の仕事でしばしば見られるので(御苦労さんです) 話す機会も多いのです。
- ◇ 体育の時 ドッチボールをした。男対女でやった。但し男は左投げである。ボールを二個使用する。すごい運動量になる。よほど楽しかったらしく、昨日の体育の時もリクエストされてまたやった。左投げのをやったあと、男に右投げを許し、そのかわり、コート小さくした。

右図のようなコートである。巾2mのせまいコートだから、2個のボールにはさまれると大変である。男が女の子のようにキャーキャーいって逃げまわっていた。しかしさすがに男の子でこのコートでも、何かほかあたらないのである。女の子が力いっぱい投げたのをヒョイとよけてしまう。三人ほどでピラミッドをつくって崩れてよける。すべり込みでにげまわる。その時、失敗したボールが自分達の外野に行くように考えて逃がしている。



どうしようもなくなると、女のそば200m位まで近寄って「ウォー」  
とか吠えて、あとそうとする。男もは、どろだらけである。どの  
男もとも5mなら女もボールは取れる。弱い投げ方なら1mでもと  
る。しかし、2mの間にばさまれて、二個のボールにはさまれる  
と大変なのだ。その逃げっぷりが、あまりに見事で、女子の方が  
1mでもあてられたいほどあまりに上品というが、ドジなので、ゲ  
ラゲラ笑いたがら見ていた。おかげで下校まで体育を延長してし  
まった。正味一時間、ゲラゲラ笑ひ続けたのは久しぶりである。

◇ 昨日、ほくがやってみたい事の一部を書いた。まだまだある。  
でも、断片的に見て全部はできまい、今日からは、具体的に述べ  
てみることにする。

◇ 手づくりの遊びをやってみたい。所は図工でやっているので、  
紙飛行機と折り紙をやる予定である。紙飛行機も多類の種類があ  
るが、絵葉書きを使用したものをするつもりである。さろん屋上  
の上から飛ばすなんていう、世間のみんなしゅくをかうことを、と  
しとし、やってみるつもりである。

折り紙は、できたら千代紙細工なんてものまで、できたらしてみ  
たい。子供達にこの二つを聞くと、折り紙なんてというのである。  
川宮校一、二年生のしか考えていたのだ、この伝統的文化のさわり  
を話すと、興味を示し出した。飛行機もどとやれば面白いので  
ある。

◇ 子供達は、百人一首も奥に好きで、希望が一番多かった。「一日  
全部やっちゃあうか」というと、それもいいけど、楽しみだから  
毎日一時間ずつあった方がいいというのだ。

◇ ここまで書いて、校内の研究発表の準備をしていたら、二日た  
ってしまった。以上は、二日前までのことである。お許しを!!

# えびとら

No. 169

1976.1.28

602

つね

## 卒業単元の構想の為の覚書 3

(あとはいすれで...)

◇ 漢字のテストを現在くり返している。28日現在で9回行っている。すべて百点は小泉と野田尾の2名である。8回は小岩、中原、村瀬である。きびしい上にきびしく採点してあるので大変である。それでも90点以上は27名前後に居る。28日、六年生下巻の新出漢字20向をしたのであるが、女子の最低点は85点というすごさである。60、70台はもうみぞっかすなのだ。俺にこってりとしほられる。「練習すればできる。しなければできないのをやらないのは、生命力、たくましさの欠如だ」今や、70、80台でお茶をにごすなんてことが、許されないうんきに居てきている。

◇ 何かの教育的営為の中には必ずドラマがある。今回は本人の了解のもとに、巻山初枝の場合について紹介してみる。

初ちゃんの二学期の漢字テストの成績は次のようであった。

10 0 5 0 22 24 10 0 45 10

10回のうちの点が3回あり、最高で45である。まるでひどい成績だが本人はのほほんとしていた。二学期の個人面談の時、「ついでに字をおぼえてくれたら」という母親の努力を聞いた。俺は心が痛かった。「申し訳ありません。ほくのがまだ足りないのです」とあやまったのだった。「とんでもありません」と母親はすぐと言ってくれたが、心は痛かった。

◇ 初ちゃんが始めて練習らしい練習をしたのは9回目、12月7日の45点である。確かに他の子にくらべれば低い。しかし、彼女に

とっては 重大な転機であった。この45点がオーのびきかねと  
 なった。「やれば私でもできる」ということを、かすかに感じ  
 た45点であったのだ。生きぬく強さ、生命力の燃えあがりがあ  
 れば、あとはそれほど大変なことはない。

◇ 初ちゃんの三学期のテストの結果は次の通りである。

50 40 80 100 100 80 90 100 95

じりっ、じりっ と前進を始めた彼女はついに始めての80をとり、  
 そして翌日、始めての100点を取る。村瀬が「先生！初ちゃん  
 100点だよと言った時、教室は拍手につつまれた。初めての100点  
 ここれが彼女のオーのびきかねとなる。それからは、悪くて80点  
 である。人間の生命力とは、人間とは何とすばらしいものか  
 思うのである。最後の95が光る。六年下巻のまとめたのだ。裁  
 断、故障、需給、補給、負傷などの、あずかししい漢字、そして  
 きびしい採点をへた結果なのである。20問中19問の正解である。  
 初枝のこの成長は当然ながら他に伝わる。女子の最底55もその  
 一つである。本日、90以下は立たされて、叱られたのであった。

◇ これほどまでに初枝を育てたこのクラスに、自分が成長する  
 ことで他にえいきょうを与え、多くのことをもたらした初枝に、  
 心からの拍手のほどを！！

◇ 6年のまとめの算数のテスト2枚をやった。3月上旬実施と  
 いうのを1月にやったのである。全国平均がぬけている。といた  
 だけ正確が分らないが、一応比べてみた。〈100点に換算する〉

	全国平均	クラス平均		左の表の通りであるが
知識理解	66.2	73.8	+7.6	“考え方、かすく良
技能	64.4	81.2	+16.8	いのが分る。応用
考え方	51.3	76.6	+25.3	問題である。これ

で見ると、頭を使って、考えてやるという問題ほど、解けているの  
 が分る。算数はよく考えてやれば面白いものだといふ事が子供達にはわかってある。

# えとせとら

№170  
1976.2.3  
602

## 卒業単元の構想の為の覚書 4 漢字パズル

- ◇ 今回もちょっとはすいて、入学試験問題についての考察などを書こうとしたが、はすいすぎるので止める。人間の頭なんて同じなので、同じような問題が出ることを後考のためにいいたかったのだ。麻布中の算数4問のうち1問ほぞ、1週間前に授業でやったのと、もろに同じであった。肉語休題<ムダハナシハサテキ>  
授業 1.75の逆数は → (其中) 0.5の逆数は  
授業 4より大で8より小さい分数で分母が16のは  
→(其中)4より大きく8より小さい分数で分母が6であるのは
- ◇ 卒業単元の一つとして、漢字パズルの創作をすることにした。例によって、これによって漢字の力がつくとか伸びるとかは一切考えない。面白そうだからやるのである。つまりほければ止める。六年間で習う漢字の学習の最小限は終わっている。例がないと分りにくいので、次ページに漢字パズルのいくつかを紹介する。ひまがあったら、やってみて下さい。
- ◇ 子供達は4,5人のグループに分れて、本日から創作にとりかかった。出題には、何か一つのテーマを兼ねてもらう。地名とか漢字とか函数とかである。どんなものができてくるのが楽しみである。プリントにして全員に配るようにするつもりである。

## 漢字パズル

(1) □に二画を加えて漢字を25以上つくりなさい。

例 田 目

(2) 次の模様の中にかくされている漢字を15以上書きなさい。



例 円

(3) 誤字をみつけなさい。(すか干か)

申 迂 汗 肝 刊 幹 紆 (ヒント: すはウ干はカンが音である)

(4) □に文字を入れて五つ以上の熟語をつくりなさい。

自□自□

一□一□

(5) 次の日は 月日の日, 朝日の日のどちらの仲間ですか。

縁日 初日 落日 命日 陽日 吉日 余日

(6) スポーツ名を漢字で書きなさい

サッカー テニス バレーボール ペンポン バスケットボール

(7) よめますか。<瓜>

胡瓜 南瓜 糸瓜 西瓜 木瓜 冬瓜 烏瓜 甜瓜

# えとせとら

NO. 173  
1977. 2. 14  
6の2つり

◎本日、日記の提出と  
ありません。  
◎土曜日 大河原さんの  
持物のお手紙を  
でした。もう完結です。香  
と言ってたのですが、段と  
です。子供たちが  
つけてもらって  
しかけま

## 卒業単元の構想その後

◇ いくつかの部分で授業を開始している。準備を始めている。

### その1 社会科 "地球の歴史"

宇宙の誕生から人類の誕生までふれてみるという、一応は  
大きな計画である。本日の課題は "初めて上陸した生物は  
動物か植物か" であった。

何も無い陸地へ。海で誕生し進化した生命は、何を求めて  
上陸したかである。

生存競争ではじき出された下等生命のゴケ類は、下等だ  
からこそ悪条件、変化に耐えられるという宿命によって陸  
地に登場する。そしてその地は光合成によって栄養素をと  
る植物には、思いの外の天国であった。次回の課題は "上  
陸したゴケ類の運命は?" である。

### その2 算数 "1年からの復習"

次の人々がプリントを用意することに任せた。教科書を調  
べ、それを基本とし  
て、やっていくつも  
りである。

- 1年 …… 小岩、大田 三上
- 2年 …… 奥村 佐藤
- 3年 …… 鈴木 中塚和
- 4年 …… 陶山 五十嵐 橋本
- 5年上 …… 栗山 中塚
- " 下 …… 桜 大河原

③

百人一首

本日やる予定であったが、6人しか持ってこないので中止。

④

めんこの解禁

休み時間にやっている。但し授業中にくいこんだり、他からクレームが来たら中止にしてある。

⑤

漢字パズル

いくつかのグループに別れて、プリントを刷ってやっている。父母の方々とプリントに目を通させて、できそうなのをやってみて下さい。向題としての水準は今の所の中の下といったところ。

⑥

詩をあんきさせること。

エトセトラにのった中から選んでいる。食事のあと一度いわせてみて下さい。丸谷文一とかいう作家によると、文体を学ばせるのにはこれが一番だそうです。ゆゑとも、ほくは趣味で、教えるには毎度強制してやらせている。2年間で20篇ぐらいの予定。

⑦

音楽を聞かせること。

これも毎度決っていて、砂の器に決めてある。本日二回目を図書の際に聞かせる予定。

風景異情 望生犀屋

その二

ふんわりと遠くにおぼろげな

ささく悲しくうたふもの

よか

うらがれと異士の食いな

帰るとこころあはれ

ひとり都のゆふぐれに

ふるさとおもひ涙ぐま

その三

遠きみやこにかへらばや

遠きみやこにかへらばや

抒情小曲集

# ランダム

NO. 69

1982. 2. 8

## 卒業単元の計画 その1

### I 単元名 とその理由???

- |                 |          |
|-----------------|----------|
| A 百人一首          | 道徳に係る    |
| B ミニオリンピック      | 体育に係る    |
| C お茶会           | 家庭科に係る   |
| D ファッションショー     | 家庭科に係る   |
| E 調理実習          | 家庭科に係る   |
| F 体育 (飛び箱・マット)  | 体育に係る    |
| G マンガ (読む)      | 読書に係る    |
| H かくし芸大会        | まそう力をためる |
| I 球技大会          | 体育に係る    |
| J メイロ (つくる・とく)  | 算数に係る    |
| K ミニクラブ         | クラブに係る   |
| L シリレージョン       | 百分転かんに   |
| N 一年～三年までの算数の問題 | 算数に係る    |
| M ぬる            | 百分転かんに   |

- O 怪談 言葉をつねくする比喩の研究
- P 映画鑑賞 目の疲労と体力の研究
- Q 一年～三年までの国語の問題 国語に関係する
- R 地名当て 社会科に関係する

## II 週 時 程

	月	火	水	木	金	土
1	理科	1年～3年 までの算術 の問題 (時りふ茶会)	百人 一首	百人 一首	図 工	音 楽
2	理科	マコガ (読む)	音 楽	一年～三年 までの 国語の 問題	図 工	百人 一首
3	百人 一首	メイロ (つくる とく)	調理 実習	球技 大会	レクリ ション	ミニ クラブ
4	適 度 体 育 三 本 木 の こ り	百人 一首	調理 実習	ぬ る	地名 当て	ミニ クラブ
5	怪 談	映画 鑑賞	体育 (合同)	理 科	ク ラ ブ	
6	委 員 会	映画 鑑賞		委 員 会		

二 班

# テングム

No. 70

1982. 2. 8

## 卒業単元の計画 その2

四

刊王

○四班では、単元が11個出た。  
A単元の内容

A  
単  
元  
の  
内  
容  
で  
す

1. 百人一首 (国語、社会、昔の人の名前を覚える)
2. 音楽、合唱 (声を思いきって出す、保健体育)
3. ゲーミング (頭の回転をよくする算数、保健体育)
4. 一年生からの理科 (中学になって、知らないところもこまるから)
5. バスケット (運動しんけいなどをつけるため、体育)
6. 調理実習 (女の子は大人になって、おいしいご飯をつくれるようにするため)
7. バレーボール (手の筋肉をつけるのと美容にいいから)
8. おぼけやしき (保健体育、忍耐力をつけるためにも)
9. 国語一年からの (一年の字もわからなかったら、社会に出た時や中学いっただこまるから)

10. 一年からの算数 (たし算やひき算ほど多数の計算がわりりな  
いと、ところどころがつ)  
11. しくげき。(図工、絵がうまくなるため、5せいときまうよ  
うにあるのを絵とうみだすため)  
12. 卓球 (おぼやく行動が出来るようにする)

B. 5年生で決めた週時程.

曜日 校時	月	火	水	木	金	土
1	理科 せんか 木か	音楽 合唱	国語 一年の の。	百人一首	図工	音楽
2	理科 せんか 木か	バレーボ ール	音楽 せんか 木か	バスケ ット	図工	百人一首
3	バスケ ット	百人一首	卓球	調理 実習	ゲーム い3い3	一年の の理 科
4	百人一首	ゲーム い3い3	百人一首	調理 実習	バレー ボール	うたが き
5	一年の の算数	おぼけ やしき	ゲーム い3い3	理科	クラブ	X
6	X	おぼけ やしき	X	X	X	X

0位に書いてあるものは、まじめな授業でーる。

0おぼけやしきと卓球だけは、まだはっきりと、出来るか  
どうか、わかりません。

以上4班で決った集です。

四班の仲間  
梶 幸吉  
保母 昌子  
中倉 孝行  
大塚 めぐみ

# ランドム

No. 71

1982.28

卒業単元の計画 その3

## 卒業単元の計画

- 1 バレーボール (体育)
- 2 野球 (体育)
- 3 家かう、お菓子をもってきて食べる (学級会)
- 4 校庭で 遊ぶ (大塚タイム)
- 5 うでずもう大会 (大塚タイム)
- 6 指ずもう大会 (大塚タイム)
- 7 けん玉大会 (大塚タイム)
- 8 替え歌 (音楽)
- 9 百人一首 (国語)

10 調理実習 (家庭科)

11 バスケットボール (体育)

## 時間割

曜日 時間	月	火	水	木	金	土
1	理科	バレーボール (体育)	百人一首 (国語)	指すもう大会 (大塚タイム)	図工	音楽
2	理科	バレーボール (体育)	音楽	まく上で遊ぶ (国語)	図工	調理実習 (家庭科)
3	けん玉大会 (大塚タイム)	百人一首 (国語)	野球 (体育)	マンガ読み (国語)	かえ歌 (音楽)	調理実習 (家庭科)
4	まく上で遊ぶ (大塚タイム)	百人一首 (国語)	野球 (体育)	ゲーム (大塚タイム)	バスケットボール (体育)	調理実習 (家庭科)
5	ぼうずめくり (国語)	風ね (大塚タイム)	イントロクイズ (学級会)	理科	クラブ	
6		うでつも う大会 (大塚タイム)				

七班

# ラッパム

NO.72

1982. 28

## 卒業単元の計画 その4

### 八班の卒業単元と週時程の計画

#### 。単元

- |                   |     |
|-------------------|-----|
| 1. 百人一首           | 国語  |
| 2. 遊び (ゲーム)       | 体育  |
| 3. レクリエーション (ダンス) | 音楽  |
| 4. らく書きパーティー      | 図工  |
| 5. 読書 (マンガ)       | 図書  |
| 6. ちねこみパーティー      | 家庭科 |
| 7. 計算             | 算数  |
| 8. 地名あて           | 社会  |

9. ディスコ大会 音楽

10. 歌合戦 - のどじまん - 音楽

### ○単元の説明

1. 百人一首をやる。
2. ゲームをいろいろ。
3. ダンスをやる。
4. 黒板に絵を好きおだけみんなで勝手に書く。
5. マンガを読む。
6. もちこむ。
7. 計算をやる。
8. 地名おてをする。
9. カセットで曲を流し、みんなでおどる。
10. 歌を歌う。

### ○週時程

	月	火	水	木	金	土
1	理科	9 音楽	5 図書	7 算数	図工	音楽
2	理科	9 音楽	音楽	2 体育	図工	1 国語
3	1 国語	6 家庭科	4 図工	3 音楽	8 社会	7 算数
4	2 体育	6 家庭科	4 図工	3 音楽	2 体育	10 音楽
5	8 社会	10 音楽	7 算数	理科	クラブ	※
6	※	※	※	※	※	※

・1~10は単元の番号  
・番号がないのは選科

# ランダム

No. 83  
7

1982. 2. 8

卒業単元の計画 その5

◇単元◇

- 1 [百人一首] 理由 反射神経をやしなう◇国語の古語の勉強
- 2 [屋上体育] 理由 運動神経をやしなう◇算数の勉強になる  
○ド、千ムイテホイ陣取り◇人数アツク◇手つむぎまじ
- 3 [向山先生講演会] 理由 教科書外の勉強となるから  
○お母様方もあまるきする。なお、入場料100円をもらう。  
このお金はクラスの費用となる。
- 4 [調理実習] 理由 家庭科の勉強◇男女とも、いつかは  
やくに立つ。
- 5 [球技] 理由 体育の勉強となる◇球のつかい方の実技  
○ドッチボール◇バスケットボール◇ルシ-ボール等。
- 6 [雑学] 理由 すこしは「アダム」をつかう。  
○向山先生に出題してもらおう。
- 7 [室内体育] 理由 仕上げ  
○パルメザン など…

◇ 週時程

時	日	月	火	水	木	金	土
1	理科	脱線	百人一首	室内体育	図工	音楽	
2	理科	百人一首 室内体育	音楽	百人一首	図工	調理実習	
3	百人一首	屋上体育	室内体育	球技	屋上体育	調理実習	
4	球技	百人一首	怪談	難問	調理習 準備	調理実習	
5	講演会	お茶会 *会	合 体	理科	クラブ		
6		のどしまん					

※16費用は講演会のみ

「向山洋一先生講演会のおしらせ」は別紙で送る。その中にもらしこみ書かせる。

一 班

# ラッパム

No 74.

1982. 2. 9

その6

## 卒業単元の計画

6 班(井上, 中村, 本野, 和田)

### 。 単元

- A 百人一首.....平安時代の勉強
- B 多摩川に行く.....社会科見学
- C マンガを読む.....図画の勉強
- D 屋上あそび.....体育
- E バスケットボール.....
- F 野球.....
- G サッカー.....
- H バドミントン.....
- I 室内ゲーム.....
- J フォークダンス.....
- K 読書.....国語
- L 調理実習.....家庭科
- M お店やさんごっこ.....社会(金銭感覚をつける)
- N のどじまん.....音楽

- O 向山先生コンサート.....音楽
- P ひるね.....体を休める
- Q 同じか。こうを1時間.....ほんたいの時間
- R おままごと.....家庭科(家庭生活の研究)
- S 向山先生の生いたる記.....社会(歴史)

。週時程

	月	火	水	木	金	土
1	理科 (専科)	読書	夕刊 夕刊	向山氏の 手紙	軍社 工	音楽
2	理科	同じかっ こうを1 時間	音楽 (専科)	室内ゲーム	工	調理実習 多摩川へ行く 一週おまに交代する。
3	マンガ を読む	おままごと	百人一首	野球	のど自慢 百人一首	
4	バスケット ボール	お店やさ んこっこ	バドミントン	野球	百人一首	
5	百人一首 委員会	昼ね	サッカー の体 まはなこ	向山氏の 生いたる 記	クラブ	
6		屋上遊び				

# 号 75

## 計画 その6.

- 5 班  
岩井 牧野  
福島 桜井
- 卒業単元の計画 班のあんとして・・・
- 単元・・・
- ① 百人一首 (かみフリークごとに別れる)
  - ② 手つなぎおに (男女混合でやる)
  - ③ バスケット (体育でやっているチームでやる)
  - ④ 野 球 (男女混合で4つのチームに分ける)
  - ⑤ 10円玉おくり (2列になつてこの人が持っているがあつる)
  - ⑥ ミラ〜 (1人がやる事をまねする)
  - ⑦ 地名あて (1人が地名を言つてそれを探せる)
  - ⑧ 調理実習 (おいしい食べ物を作る)
  - ⑨ しんけん地 (円になつて1人の人のやる事をまね  
それをおにがあつる)
  - ⑩ フォークダンス (音楽にあわせておこる)
  - ⑪ サッカー (男・女で試合)
  - ⑫ 人数あつめ (先生が言った数だけ人を集める)

⑬ うでぶもう

(勝ちぬき戦)

⑭ 映画

⑮ 英語

	月	火	水	木	金	土
1 時間目	理科	フックダンス	10円玉おみ	映画	図工	音楽
2 時間目	理科	地名あて	音楽	映画	図工	調理実習
3 時間目	百人一首	しんぼん地	百人一首	野球	百人一首	調理実習
4 時間目	バスケット	ミニライ	英語	うでぶもう	人数集め	調理実習
5 時間目	手つなまおに	歌をうたう	サッカー	理科	クラブ	
6 時間目		うでぶもう				

# ラジガム

No 76  
1982.2.10  
6.3通信

## 卒業単元の計画 (3班)

1. 百人一首 道徳  
中学になると国語、社会関係で必要になる。
2. 調理実習 家庭科  
おいしい物を作るために、いろいろと研究する。
3. 怪談 国語  
先生の話を聞く。又は知っている人が話をすると、国語(話し方)の勉強。
4. カセットテープ鑑賞 音楽  
現代の歌を聞く。
5. バスケットボール 体育  
普通にバスケットボールをやる。
6. らくがき 図工  
絵や字を思いきり書く。
7. フォークダンス 体育  
リズムにのれるようにする。
8. もちこみパーティー 学級会  
クラスでちやんとまとまって、行事を行なう。
9. イントロクイズ 音楽  
音に敏感になる。曲を少し聞いて、曲名を当てる。

10. 室内ゲーム

体育先生、みんなが知っているゲームを教室でやる。

11. 屋上遊び

体育屋上でみんなとゲームなどをして遊ぶ。

12. のど自慢

音楽グループを作って歌を歌う。向山先生がしん査員で順位を決める。

## 週時程

曜日 時間	月	火	水	木	金	土
1	理科	イントロ クイズ	屋上 遊び	室内 ゲーム	図工	音楽
2	理科	調理実習 計画	音楽 怪談	体育(外)	工	調理 実習
3	一人 一人	フォー ダンス	怪談 一人 一人	カセット 鑑賞	もち ぱちこ み	調理 実習
4	バスケット ホール	ダンス	一人 一人 体育(合)	テラ 賞	パチこ み	調理 実習
5	らく かき	のど 自慢	一人 一人 体育(合)	理科	クラブ	調理 実習
6		のど 自慢				調理 実習

# ラジガム

No. 77

1982. 2. 22

卒業単元～・時間割・～卒業単元係  
～・第三原案・～ 1982. 2. 23

	月	火	水	木	金	土
1時間目	理科	7 シヨソ	話 合	謝 恩 会	団 工	音 楽
2時間目	理科	7年からの勉強	音 楽	百 人 一 首	団 工	調 理 実 習
3時間目	ホーム 百人一首	映 画	屋 上	体 育 (外)	百 人 一 首	二
4時間目	体 育 館	映 画	百 人 一 首	屋 上	フ ォ ク タ シ	二
5時間目	7年からの勉強	ク ラ ス 歌	合 体	理 科	ク ラ ブ	
6時間目		テ ィ ス コ 大 会 先生の話				

一・卒業単元の係り・一

百人一首	大和田、上野
しつしーション	水野、福島、石山
1年からの勉強	井上、岩井、梶
体育	中島、本野、菅野、東
屋上遊び	中村(男)、和田、立石
映画	村瀬、杉山、原田、石崎、岡部
デスコ	松原、保母
フォークダンス	大橋、中村(女)、桜井
調理実習	大山、岩城、太田、橋本、平川
ワグスの歌	東(女)、坂本

向山から

◇ 三学期は「まとめの活動」の時期である。

私は、六年生最後のこの時期は「卒業單元」ということで、  
る供たちに計画させている。いわば「夢の時間割」であ  
る。る供たちは、各班で作った原案をもとに案をつくりあげ  
た。これがそうである。

「これで、本当にいいんだね？」と念をふいたら、「よく考  
ると、ちがう気がする」と言う。淋しそうなのだ。

とにかく一冊向、こゆでやってみることにした。



1月特典

No.26 | 2026年1月

## 向山洋一 教育資料

1977 / 1982 「卒業単元」

子どもたちが計画する「夢の時間割」

発行日 2026年1月2日

発行所 向山洋一教育技術研究所

所在地 〒142-0064 東京都品川区旗の台2丁目4番12号



谷和樹の教育新宝島

<https://shintakarajima.jp>



向山洋一公式サイト

<https://mukoyamayoichi.com>

このPDFは、プリンタの「冊子印刷」を選択すると冊子になります。  
他人への譲渡および個人研究以外の目的で使用することを禁じます。